

事業報告書（第5期）

平成30年10月1日から

令和元年9月30日まで

I 概要：

当社団法人は前年度に引き続き、企画運営委員会傘下の三つの検討部会（まちづくり検討部会、オリンピック・パラリンピック検討部会、安全・安心検討部会）では月1回のペースで会議を開催して、各検討部会関連の情報の収集・共有を進め、各検討部会の課題について具体的な解決策を検討致しました。

各検討部会の検討内容の詳細については別紙のとおり報告します。

II 各検討部会の事業報告：（詳細別紙のとおり）

①まちづくり検討部会：

新木場の将来ビジョンについて地権者と合意形成を図るため、あらゆる角度から意見交換できるように、既存開発事例の調査報告や、専門家による講演会等を実施した。

i) 委員による意見交換のまとめ

ii) 具体的開発事例の調査報告（国内外の事例）

iii) 専門家による講演会開催の企画

・講師 岸井 隆幸氏を招いての講演

・講師 出口 敦氏を招いての講演

・講師 羽藤 英二氏を招いての講演

iv) 『東京ベイエリアビジョン』*パブリックコメント提出を見据えたまちづくりコンセプト案のまとめ：

・広い空と海に草の根的に創造性が集う自由なまち

・都市空間の時間活用マネジメントによる共有経済活動のまち

・木の伝統文化から発展する資源循環の先進技術のまち

②オリンピック・パラリンピック検討部会：

i) 『東京2020大会の交通マネジメントに関する提言のまとめ』の報告
（交通輸送技術検討会）

ii) 『東京ベイエリアビジョン（仮称）の検討について』の概要説明

iii) 東京2020大会と連動したイベント等の検討

iv) NECソリューションイノベータ(株)からの申し出について

v) 新木場地区における舟運の可能性についての検討

vi) 新木場駅ロータリーに東京2020大会歓迎の看板設置

③安全・安心検討部会：

安全・安心検討部会では、検討の課題を『交通問題』、『防災問題』、『治安問題』の三つに絞り、具体的な問題の抽出を行い対応策の検討を行いました。

- i) 小規模事業所の為の防災体制整備の手引書の作成
 - ・災害発生に備えた事前準備
 - ・災害が発生した場合の行動指針
- ii) 首都直下型地震対策チェックリストの作成
- iii) 『東京 2020 大会の交通マネジメントに関する提言のまとめ』の報告
- iv) 東京臨海広域防災公園内に整備された防災体験学習施設（そなエリア東京）の視察の企画

Ⅲ 当社団法人の社員参加状況：

令和元年 9 月 30 日現在 社員 166 名

以上

事業計画（第6期）

令和元年10月1日から

令和2年9月30日まで

企画運営委員会傘下の三つの検討部会は本年度の計画を次の通り定め、相互に連携しながら具体的な活動を展開していきます。

1. まちづくり検討部会 令和2年度事業計画

部会での意見交換を基に纏めたまちづくりのコンセプト案をベースに、『江東区都市計画マスタープラン』および『東京ベイエリアビジョン』に新木場・辰巳三丁目地区地権者協議会としてパブリックコメントを提出し、新木場地域の将来像と方向性を示すとともに深度化を図る。

- ①2019年12月に、前年度纏めたまちづくりのコンセプトを基に、『江東区都市計画マスタープラン』の第一次パブリックコメントを提出する
- ②2020年に、江東区と当社団法人で独自の意見交換の場をもつことを区宛に要望し、意見交換を実施する
- ③その後さらにコンセプト案をブラッシュアップし、2020年12月に『江東区都市マスタープラン』の第二次パブリックコメントを提出する
- ④『東京ベイエリアビジョン』についてもパブリックコメント提出の機会が見えた時点で、成果を投げ込む
- ⑤必要に応じて行政や鉄道事業者に対するヒアリング等を実施し、動向把握を行うとともに適宜有識者等の講演会なども予定する

2. オリンピック・パラリンピック検討部会 令和2年度事業計画

- ①東京2020大会時における交通規制等の情報収集
 - ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会からの情報収集
 - ・東京都・江東区等からの情報収集
 - ・その他企業・団体等からの情報収集
 - ・東京2020大会開催時における対応等の検討
- ②東京2020大会関連の文化プログラム・イベント等の情報収集
 - ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会からの情報収集
 - ・東京都・江東区等からの情報収集
 - ・その他企業・団体等からの情報収集
 - ・文化プログラム・イベント等との連携等の検討
- ③舟運導入についての継続検討
 - ・参考事例視察【新港ふ頭客船ターミナル（横浜ハンマーヘッド）等】
 - ・栈橋・待合施設等の整備手法等の検討

3. 安全・安心検討部会 令和2年度事業計画

前年度の活動を継続して『交通問題』、『防災問題』、『防犯問題』について焦点を絞って現況の再確認と具体的な解決策を検討する。

①東京 2020 大会時における交通規制等の情報収集
(オリンピック・パラリンピック検討部会と同様)

②東京直下型地震対策の継続検討

・東京臨海広域防災公園内の防災体験学習施設(東京そなエリア)の視察

③南海トラフ巨大地震対策の検討

④中央防災会議報告書の検証(解説の講演会等を企画検討)

・中央防災会議は災害基本対策法に基づいて設置された重要政策に関する会議で、内閣総理大臣を長とし内閣府に事務局を置く。「防災基本計画」の作成及びその実施の推進等を担う。

⑤江東区ハザードマップ(防災、洪水、大雨浸水)の検証

以 上